

# 令和5年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく学生への回答書

## 【スポーツ科学部】

### 1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和5年11月15日	参加した学生3名, 教員4名 (CHAmmit参加者1名含む), 職員4名 (CHAmmit参加者1名含む) の合計11名にて対面形式で, 学部提案書について45分程度の意見交換会を実施しました。 その結果を踏まえ, 教員で対応内容について意見交換を実施し, 回答書を作成しました。

### 2 スポーツ科学部から学生へのメッセージ

<p>所属学生の皆さんから貴重なご意見を頂きました。</p> <p>今回のディスカッションを通して, 普段教員があまり気づいていない点を多面的に知ることができ大変有意義でした。</p> <p>スポーツ科学部では, 実習や演習といった授業が学部の特性から対面を中心に実施されている関係からONLINE授業があまり展開されておりませんが, 次年度以降, 選択科目の初回授業などは, 例えば授業目的を逸脱しない範囲でONLINE授業にて授業概要を視聴し, 選択科目の初回授業などは受講生が授業趣旨や目的を十分に納得してミスマッチを起こさない受講ができるよう検討を始めます。</p> <p>頂いた様々な意見を踏まえ, 今後も質の高い大学教育ができるよう教員一丸となって取り組んでいく所存です。</p>
--

### 3 学部提案書の対応について

#### 「理想の学部」にするための提案について

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
オンラインと対面のハイブリットを増やして欲しい。			○	専門科目について, 第1回目の授業をオンデマンドとすることで, 複数の科目から履修科目を選択できるようにする取り組みを新年度に向けて検討中です。 また, 講義科目においてオンライン授業と対面授業時での点数差が大きく見受けられた科目もあることから, オンライン化は慎重に検討を進める必要がありますが, ハイブリットの活用については前向きに検討していきます。
教員免許などの資格を取得できるようにする。また, トレーナーとして実践現場での経験を取り入れて欲しい。			○	現在のカリキュラムでは取得不可であるため, 将来的に, 本学部単体での取得や他学部と連携した取得が可能かどうか検討を進めていきたいと考えています。 現在教員免許を取得するためには, 卒業後に科目等履修といった形で他学部に入学する必要があります。 スポーツ現場で活用することができる, アスレティックトレーナー等の資格について, 今後取得が可能となるように検討を進めていきます。
留学生との交流を増やして欲しい。			○	留学生にとっても必要なことであるため, 国際交流センターと協力をして, 留学生との交流イベントや授業での交流ができるように検討を進めていきます。
海外研修を行うために貯蓄事業を取り入れて欲しい。	○			貯蓄については, 参加ができなくなった場合および用途変更等によって不参加になった際に返金処理が発生してしまうといった管理の観点から取り入れることは難しいです。 しかし, 1年次から, 海外研修プログラム等が実施されていることに対する周知の機会をこれまでよりも増やしていくことで, 早期的に個人での貯蓄等の準備ができるように対応していきます。
Wi-Fiの設備強化をして欲しい。		○		Wi-Fiの接続環境がよくなるように対応しており, 以前よりも繋がりがよくなったとの声を聞いています。 今後もみなさんがよりスムーズに授業を受けることができるように, 対応を継続していきます。
不正出席 (出席のみして, 授業を受けない学生) の防止・学習意欲の低下を防止して欲しい。		○		不正出席防止のために, 授業内で複数回出席を確認したり, リアクションペーパーの提出を出席確認とするといった取り組みを実施しています。不正出席がおこなわれているという現状を教員間で共有し, 学部全体で防止策の対応を検討していきます。 また, そのような学生を見逃すことからおこる学習意欲低下を防止するためにも, 学生へのアプローチをしっかりとここない, 注意していきます。

※令和6年4月1日現在の対応内容となっており, 今後の状況によって変更する可能性があります。